



第 91 卷 総目次

平成 20 (2008) 年

第九一巻 第一号 特集 モニユメント

特集「モニユメント」によせて……………金田章裕…一（一）

論説

はじまりの記憶……………松井嘉徳…一（四）

国家形成のモニユメントとしての古墳……………河野一隆…一（三三）

平安期の御願寺と天皇……………堀裕…一（六七）

歴史的なモニユメントの碑刻銘文資料が語るもの……………井谷鋼造…一（一〇一）

ナポレオンの「記憶」試論……………竹中幸史…一（一四一）

ネルソンの国葬……………中村武司…一（一七六）

戦後日本の海外戦没者慰霊……………浜井和史…一（一九八）

シチュアシオニストとカウンターモニユメント……………滝波章弘…一（二三〇）

コメント

モニユメント研究の新天地平……………杉本淑彦…一（二五六）

〈モニユメント〉の可能性……………西山良平…一（二六四）

【論説】

仁寿殿観音供と二間御本尊……………齋木涼子…二（二八七）

シユマンニデユボンテスの政治思想と敬神博愛教の成立……………山中聡…二（三二〇）

関東州阿片制度の制定と中国商人……………	桂川光正…二(三五五)
叡山文庫所蔵の『事林広記』写本について……………	宮紀子…三(四五五)
ペルシア語文化圏における十二支の年始変容について……………	諫早庸一…三(四九六)
日清戦争後における経済構想……………	中元崇智…三(五二八)
古代東北アジアにおける馬具の製作年代……………	諫早直人…四(六二三)
「書同文」考……………	山田崇仁…四(六六三)
一三世紀アイスランドにおける平和維持……………	松本涼…四(六九四)
清末湖南省長沙における地方教育行政の実態について……………	宮原佳昭…四(七二八)
董其昌の法帖刊行事業に見る権威確立への構想……………	増田知之…五(七八三)
近世真宗優勢地帯における浄土宗の思想的機能……………	上野大輔…五(八一五)
一九世紀前半ヴィルノの知識人とリトアニア……………	梶さやか…五(八四七)
古井喜実と一九六八年の日中LT貿易交渉……………	鹿雪瑩…五(八八一)
近代移行期の地域資産をめぐる官と民……………	今村直樹…六(九四九)
一八三〇―三二年英領西インド経済危機と奴隷賠償制度……………	川分圭子…六(九八一)
歴史家E・A・ウォーカーと南アフリカのブリティッシュ・リベラリズム……………	堀内隆行…六(一〇一八)
森恪の中国政策構想……………	小林昭平…六(一〇五一)
【研究ノート】	
東胡考……………	吉本道雅…二(三八一)

「シルクロード史観」再考……………間野英二…二(四〇二)

「篡奪皇帝」の栄光と失敗……………小林 功…三(五五九)

一九世紀以前の那覇を描いた俯瞰的絵図の基礎研究……………堀川 彰子…三(五七五)

【研究動向】

日本古代学の国際化のために……………佐々木 憲 一…六(二〇八五)

【資料紹介】

「上杉加級宣旨案」の紹介……………尾下 成敏…五(九一四)

【書評】

池本今日子著『ロシア皇帝アレクサンドル一世の外交政策』……………梶 さやか…二(四三三)

高橋秀直著『幕末維新の政治と天皇』……………井上 勝生…二(四三二)

南川高志編著『知と学びのヨーロッパ史』……………伊藤 順二…三(五九七)

浅野豊美編『南洋群島と帝国・国際秩序』……………富永 望…三(六〇四)

大黒俊二著『嘘と貪欲』……………佐々木 博光…四(七六二)

井野瀬久美恵著『大英帝国という経験(興亡の世界史第一六卷)』……………金澤 周作…五(九二七)

深沢克己著『商人と更紗』……………君塚 弘恭…六(一〇九五)

【紹介】

岡田俊裕編・解説『日本の地理学文献選集』I・II……………柴田 陽 一…二(四四〇)

エドガール・フォール著 (渡辺恭彦訳)

『チュルゴアの失脚』……………谷田利文…三(六一〇)

Shaun Tougher, *Julian the Apostate*……………南雲泰輔…四(七七〇)

桃木至朗編『海域アジア史研究入門』……………山崎岳…五(九三五)

【訃報】

本会元理事長 織田武雄先生を偲ぶ……………石原潤…二(四四二)

本会元理事長 佐藤長先生を偲ぶ……………間野英…二…三(六一二)

本会元理事長 鎌田元一先生を偲ぶ……………吉川真司…五(九三七)

【会告】

二〇〇七年度史学研究会大会・総会の記録、大会講演要旨

(檀上寛「十四—十七世紀の海禁と朝貢・互市の構図」・勝山清次「中世伊勢神宮の成立と権門体制」)……………一(二七二)

理事・評議委員会報告……………一(二七四)

史学研究会役員……………四(七七四)